



La 101-a Japana Esperanto-Kongreso en Obama

La 11-a, 12-a, 13-a de oktobro, 2014 第101回日本エスペラント大会 (福井県小浜市)

日時：2014年10月11日(土)、12日(日)、13日(月・祝)

会場：小浜市中央公民館、小浜市働く婦人の家、小浜商工会館(小浜商工会議所)
(いずれも小浜市大手町) TEL:(市外局番0770) 左から53-1111, 52-7002, 52-1040

主催：一般財団法人日本エスペラント協会、福井エスペラント会

協力：関西エスペラント連盟、北陸エスペラント連盟

後援：(申請予定先) 独立行政法人国際交流基金、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、
一般社団法人日本ペンクラブ、福井県、福井県教育委員会、福井県国際交流協会、
小浜市、小浜市教育委員会、NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、
中日新聞、福井新聞、日刊福井、福井放送、福井テレビ、チャンネルO

ここ若狭地方は、古代にあっては「^{みけつくに}御食国」とよばれ、^{みやこ}奈良の都へ海の幸を供給した地であり、その中心地小浜市は「^{まはり}鯖街道」を通して京の都とつながっており、今も「食のまちづくり」を推進し、子どもたちへの「食育」を提唱しているところでもあります。

また、若狭は古代には朝鮮半島からの渡来人にとっての玄関口の一つですが、小浜市には、100年前に嵐に遭い遭難した半島からの漂流民を救助した歴史が残っています。

そして、現代の若狭には日本一原発が集中し、大都市の集まる関西地方へ電力エネルギーを供給する役割を果たしてきましたが、小浜市には今も原発はありません。

一方、文化的には奈良・京都の影響から仏教寺院も多く「海のある奈良」とも呼ばれていますし、近世では杉田玄白が少年時を過ごし、幕末の志士梅田雲浜や夭折の歌人山川登美子の生まれ育った地でもあります。

地理的にみて福井県の海岸線は、北部が隆起によって生まれた越前海岸に対し、南部の若狭は沈降して出来たりヤス式で、国立公園の美しい海岸線を見ることが出来ます。

日頃は訪れる機会も少ないであろう「若狭・おぼま」に、ぜひお越し下さい。

大会テーマ “海を越えて響き合う” 一食と自然と友好と一

地球上の生命の源であると同時に大切な食べ物の供給地でもある「海」、この「海」を越えて人々は交流を続け、独自の文化を培ってきた。この母なる「海」を汚してなるものか。若狭で自然を考えたい。

- ・連絡先:日本エスペラント大会事務局 一般財団法人日本エスペラント協会内
〒162-0042東京都新宿区早稲田12-3 メール: jek14o@jei.or.jp お問い合わせは主にメールで
TEL:03-3203-4581 FAX:03-3203-4582、ホームページ: <http://www.jei.or.jp>
- ・参加申込みは、[郵便振替 00100-4-400372 日本エスペラント大会]へ。
- ・現地連絡先:北川昭二 917-0241福井県小浜市遠敷7-113-2 TEL:0770-56-0189, 090-7087-9793

----- 主なプログラム -----

- 10月11日(土) 午前～午後 大会前観光(～2:30) 受付(中央公民館で 1:00～)
午後(2:40～) 入門講習 検定試験、地方会交流会 分科会 小講演
夕 親睦の夕べ(歌、余興、他)
- 10月12日(日) 午前 開会式 公開講演(磯部晶策) 公開コンサート(野田淳子) 写真
午後 公開講演(韓国青年) 小講演 分科会 JEI総会 アジア活動
夕 懇親会(Bankedo)(各民宿にて) 映画
- 10月13日(月) 午前 公開番組(鼎談:Arko+3人) 分科会 小講演 閉会式(～12:00)
午後 大会後観光(12:30～)

[公開番組] 「食」に関する講演: 「食品の品質や安全性の盲点」食文化研究家 ^{いそべしょうさく} 磯部晶 策氏
磯部氏はE-istoでこの分野の著名人。食の安全について、言葉の面を含め、お話しいただく。
「自然」に関する鼎談: 「若狭から考える地球環境とエネルギーの未来」
京大原子炉実験所助教 ^{こいでひろあき} 小出裕章氏<交渉中>、上智大学教授 木村護郎^{キヌ}氏、京都大学大学院生
西野ひかる氏。冒頭で中国のArko博士に中国における最新の環境事情をEsp. で報告していただく。
「友好」に関する講演: 「韓国の若者から見る日本(仮題)」韓国青年<交渉中>
公開ミニコンサート: E-istoの歌手、野田淳子さんに歌ってもらう。

[小講演等] ([] 内は用語) ①、②は小浜市民、③～⑤は外国人 [E]

- ① 明通寺住職 ^{なかいまきつゆ} 中鷹哲演氏 「小浜市になぜ原発がないか」 [E]
- ② 元小学校長 ^{おおもりかずよし} 大森和良氏 「韓国船遭難救助の記録の発掘」 [大会記念出版関連] [日]
- ③ LIN Wenxian ^{カエンシヤン} さん (金沢市在住中国人) ④ Juhelo ^{ジュヘロ} さん (黒部市在住カナダ人)
- ⑤ Hans Adriaanse ^{ハンス アドリアアーンセ} さん (オランダ人) <交渉中>

大会記念出版 1 絵本・エス訳『風の吹いてきた村』(ノンフィクション・韓国船遭難救助の記録)

今から100年以上前、日韓併合直前の1900年、ロシアの港を出航した韓国の商船が嵐に遭遇して難破。日本海(東海)を何日か漂ったのちに福井県は小浜市のはずれの小さな漁村に漂着。村人たち総出で避難民93人の救護に当たり、1週間後、元氣を取り戻した彼らを半島のふるさとへと送り返したという物語。その後埋もれていた日韓友好のこの歴史的事実が近年発掘され、本として出版された。

政治的には日本が韓国を植民地支配をしようと半島へ乗り出していた時代に、庶民レベルでは民族の違いを越えて温かい血を通わせていた友好の歴史を活写している。今回は原作を簡略化し、新たな絵を加えて小学生向けの絵本として再構成。それを翻訳してエスペラント本として出版。

大会記念出版 2 『福井エスペラント運動の歴史』

[宿泊斡旋] 民宿の申し込み受付は8月末まで

大会による斡旋は阿納^{あな}地区の民宿だけです。民宿を希望しない方は他(会場近くにホテルや旅館がある)は各自で手配願います。懇親会(Bankedo)は全体では行わず、2日目(12日)の夕食時に民宿ごとに行きます。1日目(11日)の夕食は普通食ですが、2日目は宴会食(含ふぐ料理)となります。懇親会を希望しない方は2日目は民宿を申し込まないで下さい。なお、民宿に泊まらず懇親会だけの参加は可ですが、別途申込みが必要です。民宿選定と部屋割りには実行委にお任せ願います。同宿・同室希望の方はお申し出を(ただし、家族単位は不可)。民宿での料理は魚料理が基本です。菜食主義への対応は状況により異なります。

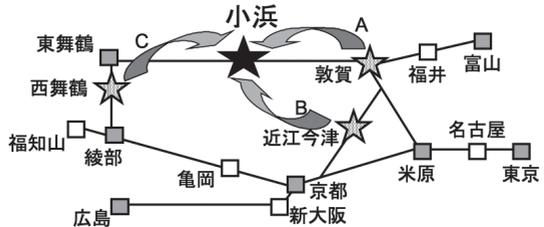
大会参加費など 注：下記の料金は4月の消費税改定での変更はありません（単位は円）

参加費	期限→	3月末	7月末	8月～	備考（○印は記念品・報告書あり）
① 一般		5,000	6,000	7,000	○
② 障害者			3,000		○
③ 家族		2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申し込みください
④ 青年・留学生		2,000	3,000		○（青年は2014年内に30歳になる人まで。生年月日を記入！（留学生は、日本に留学している外国籍の人）
⑤ 青年・留学生			2,000		
⑥ 中学・高校生		1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦ 小学生以下			無料		
⑧ 外国から			2,000		○ 高校生以下は⑥⑦でお申込みください
⑨ 不在参加			3,000		○ 実参加に切り替えは差額（申込日の額）追加
⑩ 記念写真			1,000		最終日にお渡しします。各自お持ち帰り下さい。
⑪ 昼食 12日(日)			950		菜食可 近く(徒歩5分)に「食のまつり」屋台村あり
⑫ 宿泊A 11日(土)			8,000		民宿(1泊2食)
⑬ 宿泊B 12日(日)			12,000		民宿(1泊2食)【当日は懇親会(飲料代別)参加が条件】
⑭ 懇親会のみ参加			6,000		会場は阿納の民宿(飲料代別)
⑮ 大会前観光A B C			3,000		希望コース(A B C)を記入! 参加者少数は中止
⑯ 大会後観光D			25,000		入場料等含む 少数中止 芦原温泉は一流ホテル泊
⑰ 大会後観光E			17,000		同上(前2つ)、川魚料理旅館泊
⑱ 大会後観光F			4,000		萌叡塾(ほうえいじゅく)宿泊者の交通費
⑲ JEI学力検定試験		1級5,000 / 2級3,000 / 3級2,000 / 4級1,000 / 新テスト500			

取り消し条件 ①-⑨の参加費は原則としてお返しできません。⑩-⑱の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。ただし、観光が中止の場合は全額返金します。

交通（小浜へのアクセス）について（お勧めの方法） 下図の☆印は大会前観光の出発点

■JR線利用〔東日本方面〕東海道新幹線の「ひかり」を使い、米原駅で北陸本線の特急「しらすぎ」に乗り換え30分。敦賀駅で小浜線に乗り換え約1時間。



〔関西方面、西日本方面〕a. 京都駅から湖西線を使い、近江今津駅下車。JRバスに乗り換え約1時間。

b. 京都駅から山陰本線を使い、綾部駅で舞鶴線に乗り換え東舞鶴へ。再度小浜線に乗り換え約1時間。〔北陸・山陰方面は省略〕

■バス単独利用。a. 大阪あべの発、大阪空港(伊丹)・舞鶴経由。b. 京都発、舞鶴経由。

■航空機+バス利用。大阪空港(伊丹)から上記aのバスを利用。約2時間半。

■高速道路利用。舞鶴若狭自動車道(敦賀小浜間は今夏の開通予定) 小浜ICで下車、会場へ5分。

観光について 申し込み受付は8月末まで 詳しくは『エスペラント』2014年1月号をご覧ください。

【大会前】 A：北陸線・敦賀駅12:10発：レインボーライン B：湖西線・近江今津駅12:10発：熊川宿、明通寺 C：舞鶴線・西舞鶴駅11:30発：五老岳、一滴文庫

【大会中】蘇洞門遊覧、小浜市内の(国宝)古寺めぐり、お初の菩提寺(常高寺)・墓所。他。

【大会後】D：東尋坊、永平寺、(芦原温泉泊) E：一乗谷朝倉遺跡、萌叡塾、永平寺、(川魚料理旅館泊) 近くに恐竜博物館あり F：萌叡塾(自給自足の生活塾)体験(泊)

La 101-a Japana Esperanto-Kongreso en Obama en la gubernio Fukui

Dato: la 11-a, 12-a kaj 13-a de oktobro, 2014

Kongresejo: La centra civitana domo, La domo por laborvirinoj, La komerca domo.

Kongresa Temo: *Ni akordu trans la Maro – manĝo, naturo, amikiĝo –*

Ĉefaj programeroj

La 11-an de oktobro (sabate)

Antaŭtagmeze-Posttagmeze: Antaŭkongresetoj.

Posttagmeze: Akceptejo. (de 14h40) Fakkunsidoj, Ekzameno, Kurso, Prelegoj.

Vespere: Amika Vespere.

La 12-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro, Publika Prelego, Koncerto, Fakkunsidoj, Komuna Fotado.

Posttagmeze: Publika Prelego, Fakkunsidoj, Ĝenerala kunsido de JEI, Azia Agado.

Vespere: Bankedo ĉe ĉiuj vilaĝloĝejoj.

La 13-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Publika Prelego, Ferma Soleno (ĝis 12h00).

Posttagmeze: Ekiro al Postkongreso (kun 1 tranokto).

Memoraĵo: Bildlibro pri historia okazaĵo: *"La vilaĝo, al kiu la vento blovis"*.

Kotizoj: Eksterlandano venonta el ekster Japanio: 2 000 enoj.

Loĝanto plenaĝula en Japanio: 5 000 enoj (ĝis la 31a, marto, 2014),

6 000 enoj (ĝis la 31a, julio, 2014), 7 000 enoj (post la 1a, aŭgusto, 2014).

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, familiano, junulo, alilanda studanto, lernanto, morala partopreno), demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu sube).

Loĝado: jek14o@jei.or.jp / vilaĝloĝejoj rezerveblaj. Aliaj hoteloj prezentotaj.

Antaŭkongresetoj: buse el la stacidomoj Tsuruga, Oumi-Imazu, aŭ el Niŝi-Maizuru.

Postkongresoj: al Tooĝinboo kaj Eiheiĝi, Iĉiĝoodani kaj Eiheiĝi, aŭ al Houeiĝuku

Komuna Foto: 1 000 enoj.

Lunĉo: la 12-an de oktobro, 950 enoj. Alie, proksime okazos la Festo de Manĝo.

Pri la urbo Obama, vidu: [https://eo.wikipedia.org/wiki/Obama_\(Japanio\)](https://eo.wikipedia.org/wiki/Obama_(Japanio))

Pri plidetaj informoj, havu kontakton kun **Japana Esperanto-Instituto.**

JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3, retadreso: jek14o@jei.or.jp,
telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582 retejo: <http://www.jei.or.jp>